

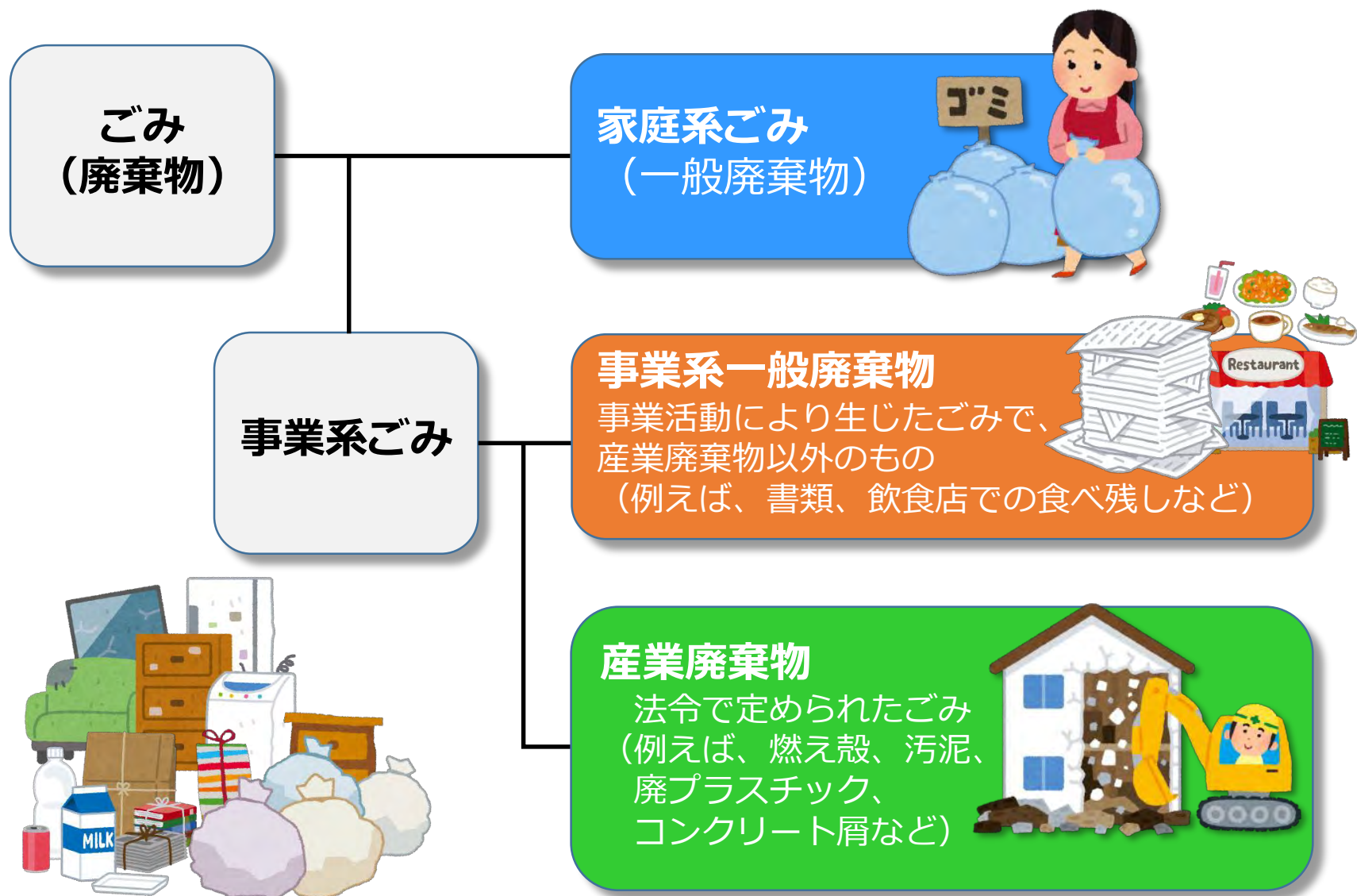
飛騨市の環境「ごみ」～減量と資源化～

私達は毎日、いろんな種類のごみを大量に排出しています。それらのごみはどこへ運ばれ、どのように処理されているのかなどの『ごみ』に関するお話をします。



ごみ焼却施設 飛騨市クリーンセンター

ごみは次のように分類されます



ごみの処理責任、所管

ごみはどのような過程から出されたものか、その分類によって処理責任及び許可等の所管が異なります。基本的には、家庭から出されたものは市町村に、事業活動に伴って生じたものは事業者処理責任があります。

なお、収集・運搬・処理業の許可を受けずに業を行った場合、5年以下の懲役もしくは1,000万円以下の罰金が課せられます。



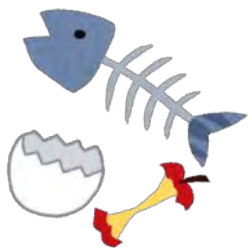
		処理責任	許可等の所管
一般廃棄物	家庭系	市町村	市町村
	事業系	事業者	市町村
産業廃棄物		事業者	県

みなさんの家庭から
こんなごみが出されています。(家庭系ごみの一例)

可燃ごみ



プラ製品



生ごみ



可燃性
粗大ごみ

不燃ごみ (埋立)



陶器・ガラス



使い捨てライター

資源ごみ



缶・ビン



プラスチック製
容器包装



紙類



新聞・雑誌



衣類



金物・小型家電

市内でどのくらいのごみが排出されているの？



市内で年間7,304 tのごみが排出されています。（R1実績）
ごみは生活に直結しているため、人口に比例しています。

みなさんの家庭から どのくらいのごみが出されているの？

市の年間ごみ排出量 7,304 t (内、家庭系ごみ 5,695t)

一人当たりのごみ排出量 年間約230kg (1日 約0.6kg)

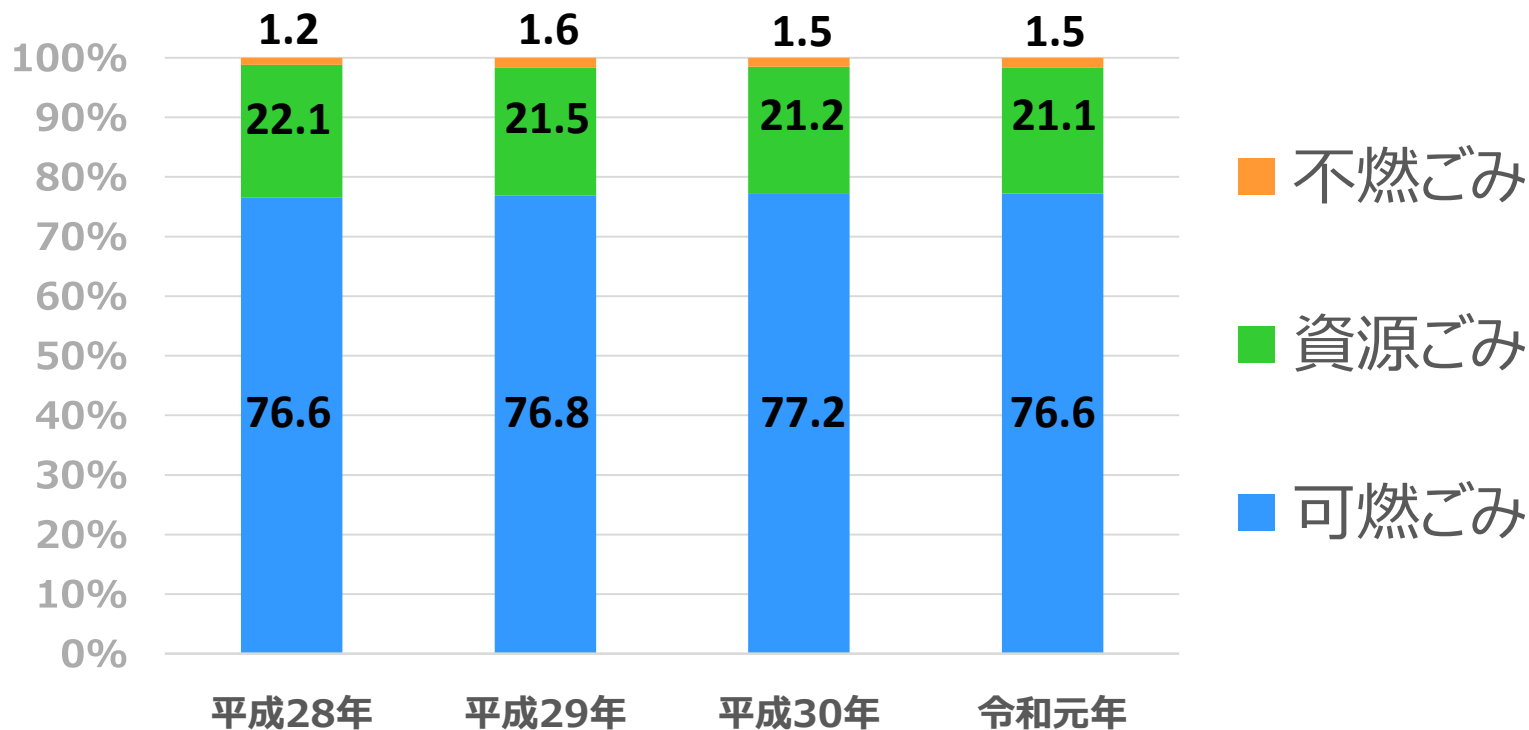
ごみ袋に換算すると…

年間で約**45**袋程度

のごみを排出しています。

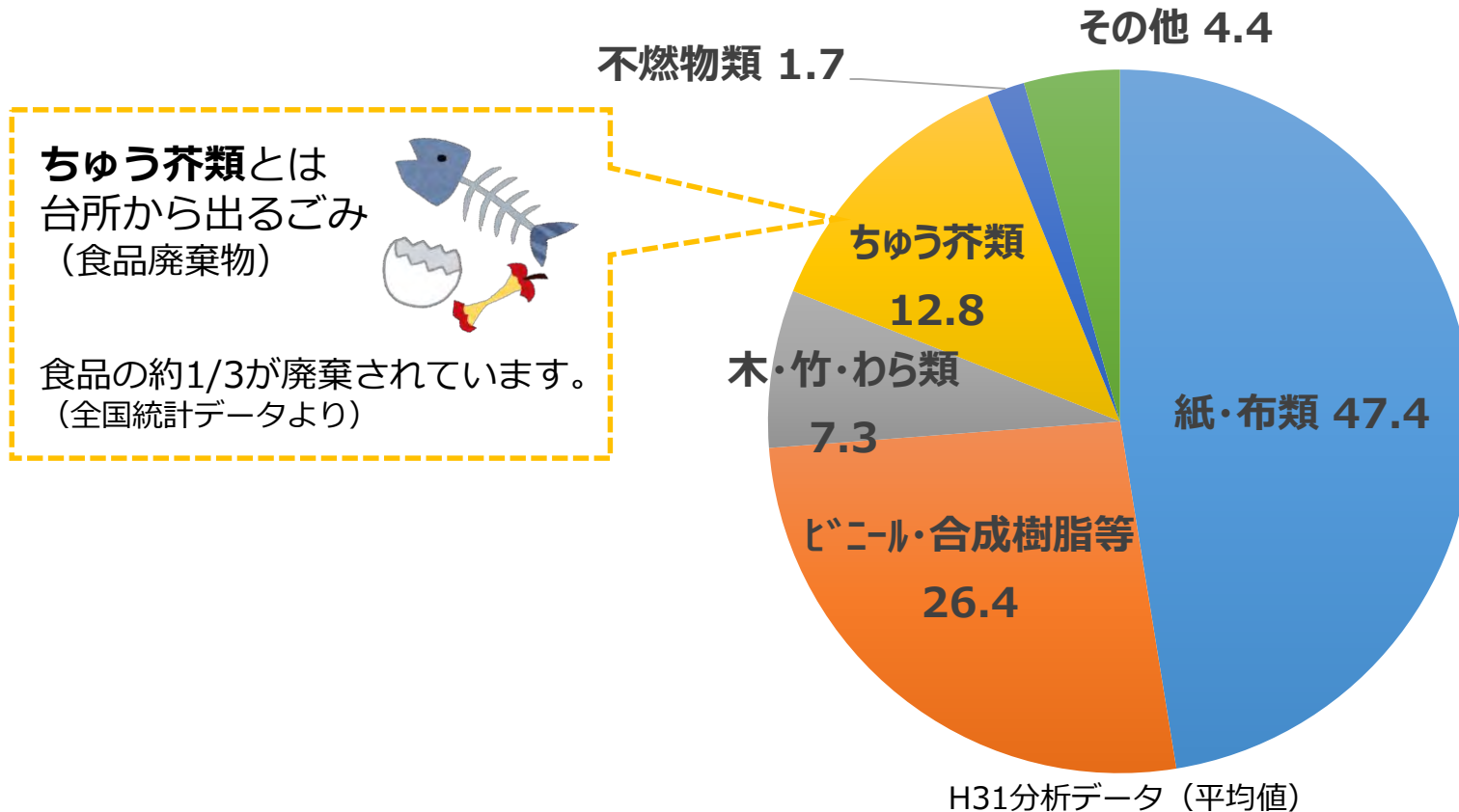


燃やすごみ、リサイクルごみ、埋め立てごみの割合は？（家庭ごみ）



可燃ごみ（燃やす）、資源ごみ（リサイクル）、不燃ごみ（埋立）

可燃ごみにはどのようなものが入っているの？



『可燃ごみに入っているごみをどのように減らすのか？』

可燃ごみの中には、リサイクルなどができるごみが多く含まれます。
特に、紙・布類（衣類）はリサイクルへ、ちゅう芥類（生ごみ）は残さない工夫や堆肥化などの減量化に努めましょう！

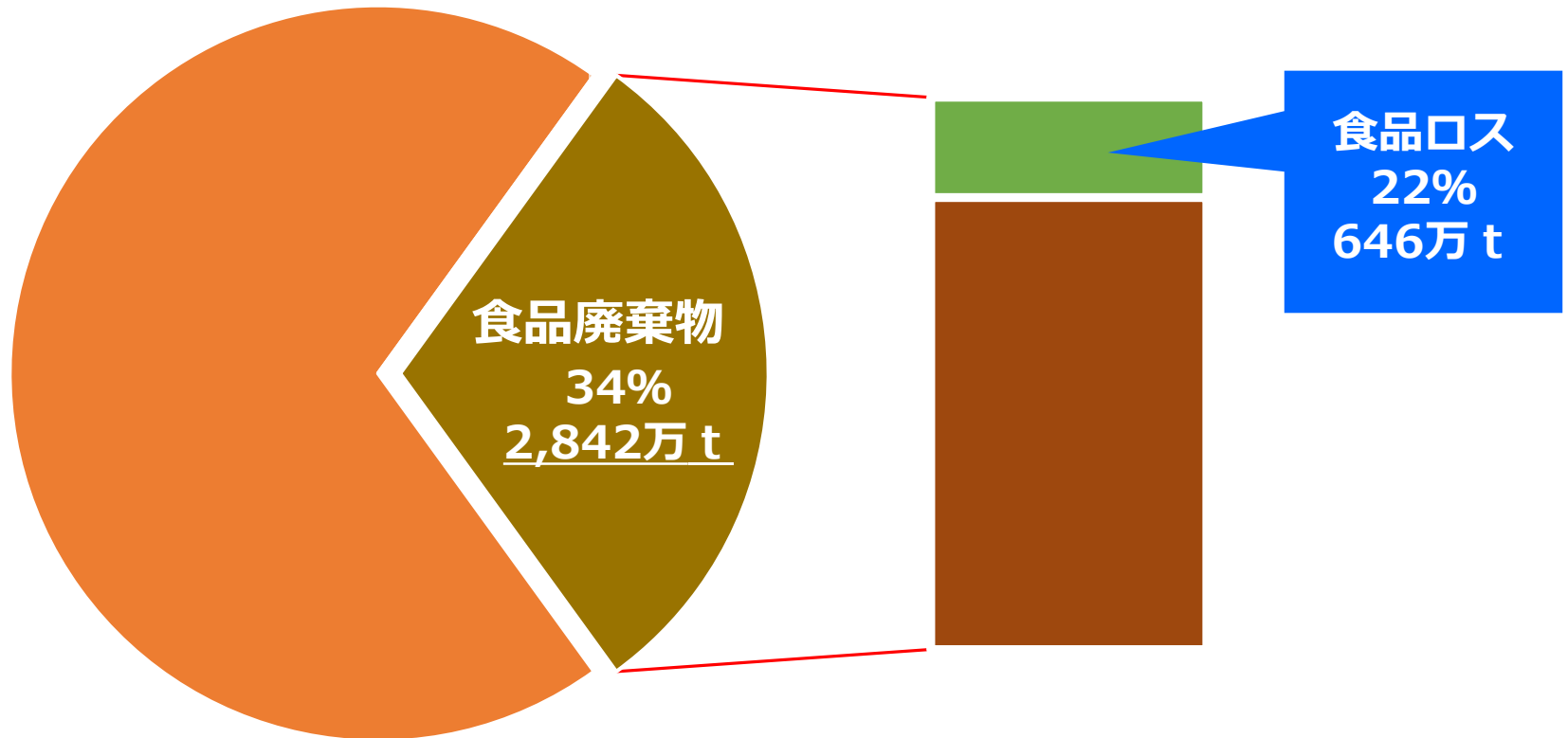
食品ってどのくらいの量が廃棄されているの？

全国で1年間に作られる食品は、8,291万トンです。

そのうち、廃棄されるものは、**2,842万トン (34%)** もあります。

(食品加工の過程で出る野菜くずなど)

さらに、食品廃棄物のうち**約2割**が、食べ残しや売れ残り、期限切れのものなど本来は食べることができたはずの食品です。(食品ロス)



ごみ処理の流れ① ごみを出す



いつもご協力いただき
ありがとうございます

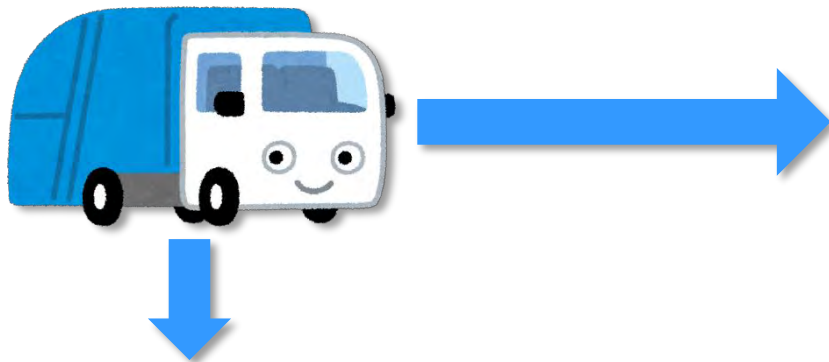


ごみ処理の流れ② ごみを収集運搬



一般廃棄物収集運搬
許可業者による収集運搬

ごみ処理の流れ③ ごみの処理施設へ



《リサイクル》資源ごみ・不燃ごみは
飛騨市リサイクルセンターへ



《焼却処分》可燃ごみは
飛騨市クリーンセンターへ

可燃ごみ袋に混入した異物！



缶・ビン



金属類



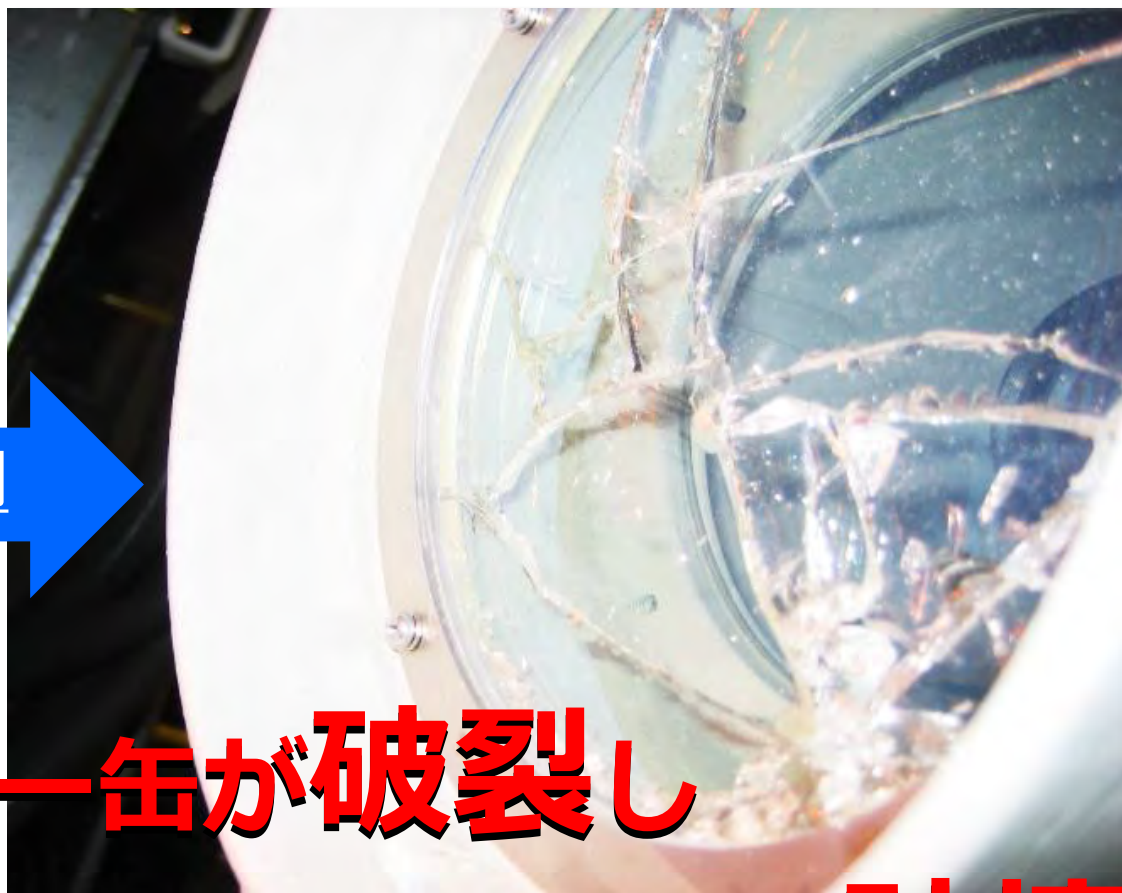
ハンガー、針金など



スプレー缶等の異物が焼却炉に混入すると……



事故例



**スプレー缶が破裂し
焼却炉のカメラレンズが破壊**

※機械が故障する原因になります!!

燃やせない、リサイクルできないごみは 埋め立てるしかありません

市内で埋立処分しているごみ

陶器・ガラス類、し尿汚泥焼却残渣（北吉城クリーンセンター）

年間埋立量**130m³**

※現状のとおり埋め立てた場合、約12年で埋め立てできなくなります。

※埋められたものは永久に土の中に残ります。



陶器・ガラス類



松ヶ瀬最終処分場（神岡町）

市内で処理できない焼却残渣は、県外の事業所に委託し処分しています

飛騨市クリーンセンター（古川町）やみずほクリーンセンター（宮川町）で発生する焼却残渣については、現在、上半期に分け、2つの事業所へ委託しています。

（いずれかの事業所が受け入れできなくなった場合のリスク対応）

R 1 契約 上半期（富山市）、下半期（三重県伊賀市）

年間排出量 約700トン



焼却残渣（焼却灰）



他県の民間最終処分場

この数字はなに？



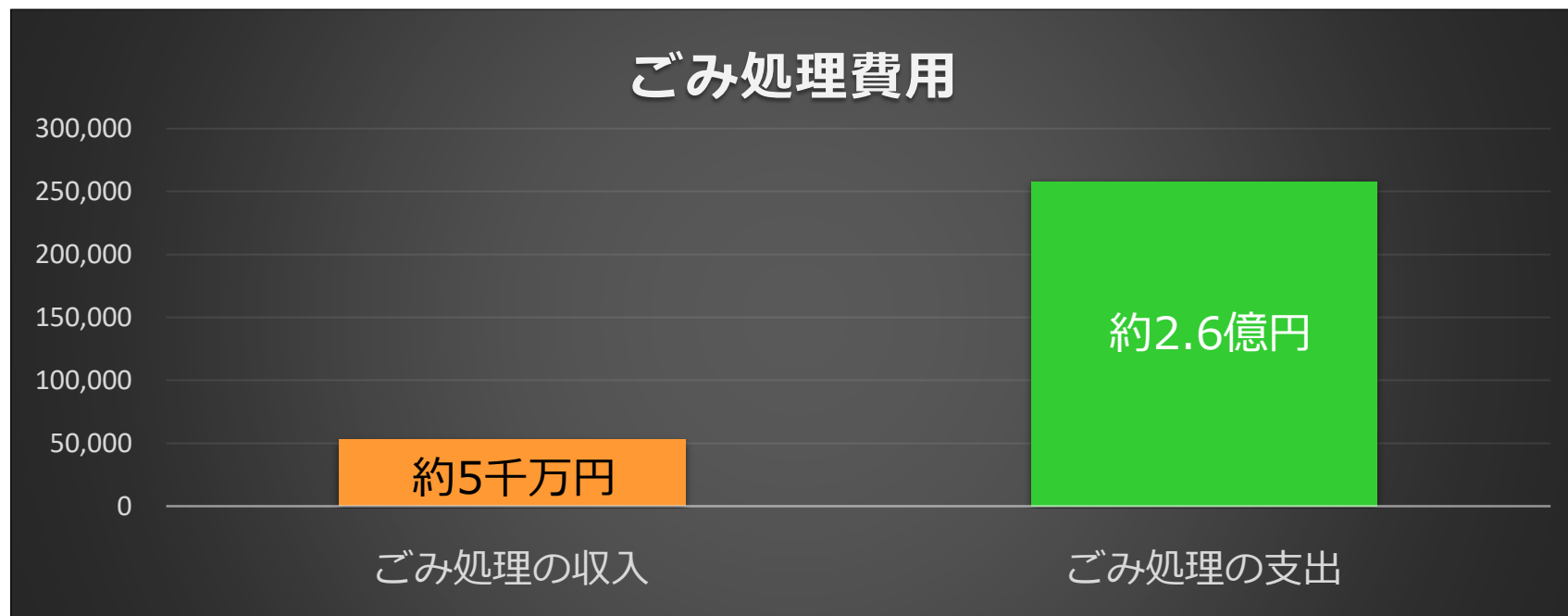
**可燃ごみ（大）
一袋あたりの処理料**

（一袋5 k g 計算）

※クリーンセンターでの処理料・人件費
委託収集運搬費を含む

**販売価格が1袋あたり52円ですので、
処理料の約2割を負担していただいています**

ごみの処理にはこんなにお金がかかっています



主な収入	ごみ袋の販売収入	約4,000万円
	施設へ持込まれたごみの処理手数料収入 . .	約1,200万円

主な支出	施設職員の人件費	約3,400万円
	施設の光熱水費	約2,000万円
	施設の修繕費	約8,100万円
	焼却灰の処理委託料	約2,200万円
	ごみの収集運搬費	約1億800万円

(R1実績データ)

資源ごみの分別作業はこのように行われています

紙製容器包装



プラスチック製容器包装



出荷

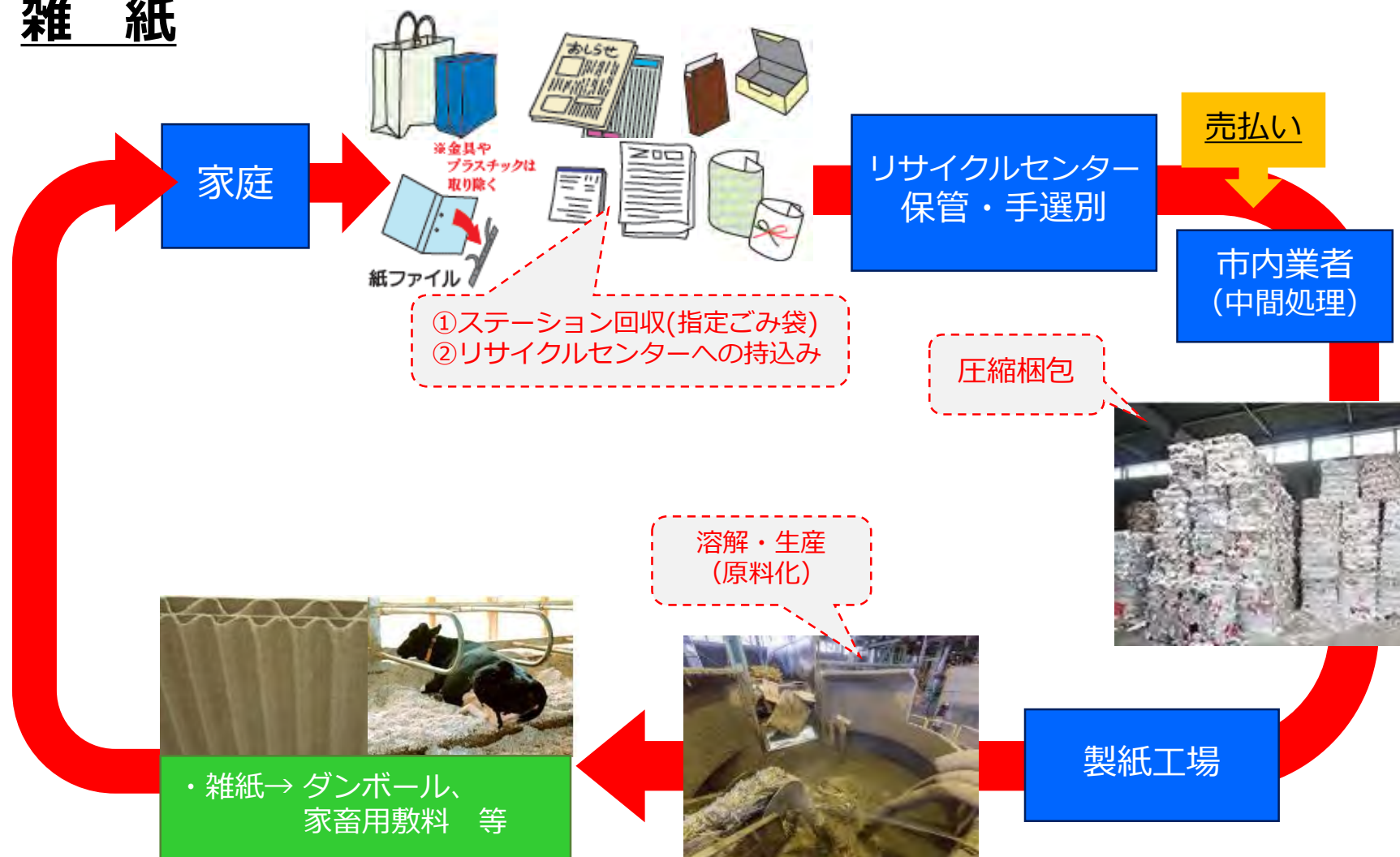
リサイクルの流れ①

プラスチック製容器包装



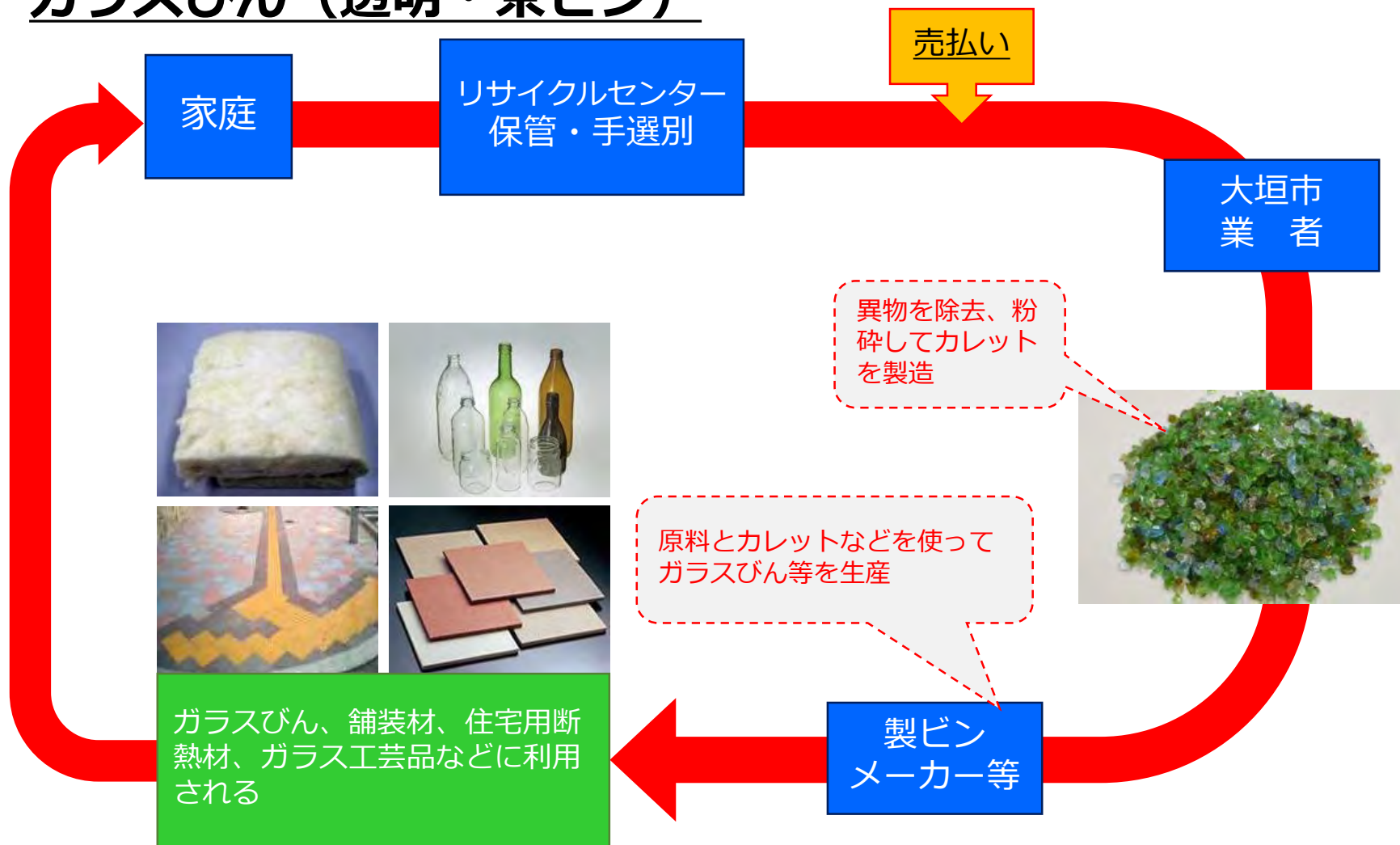
リサイクルの流れ②

雑紙



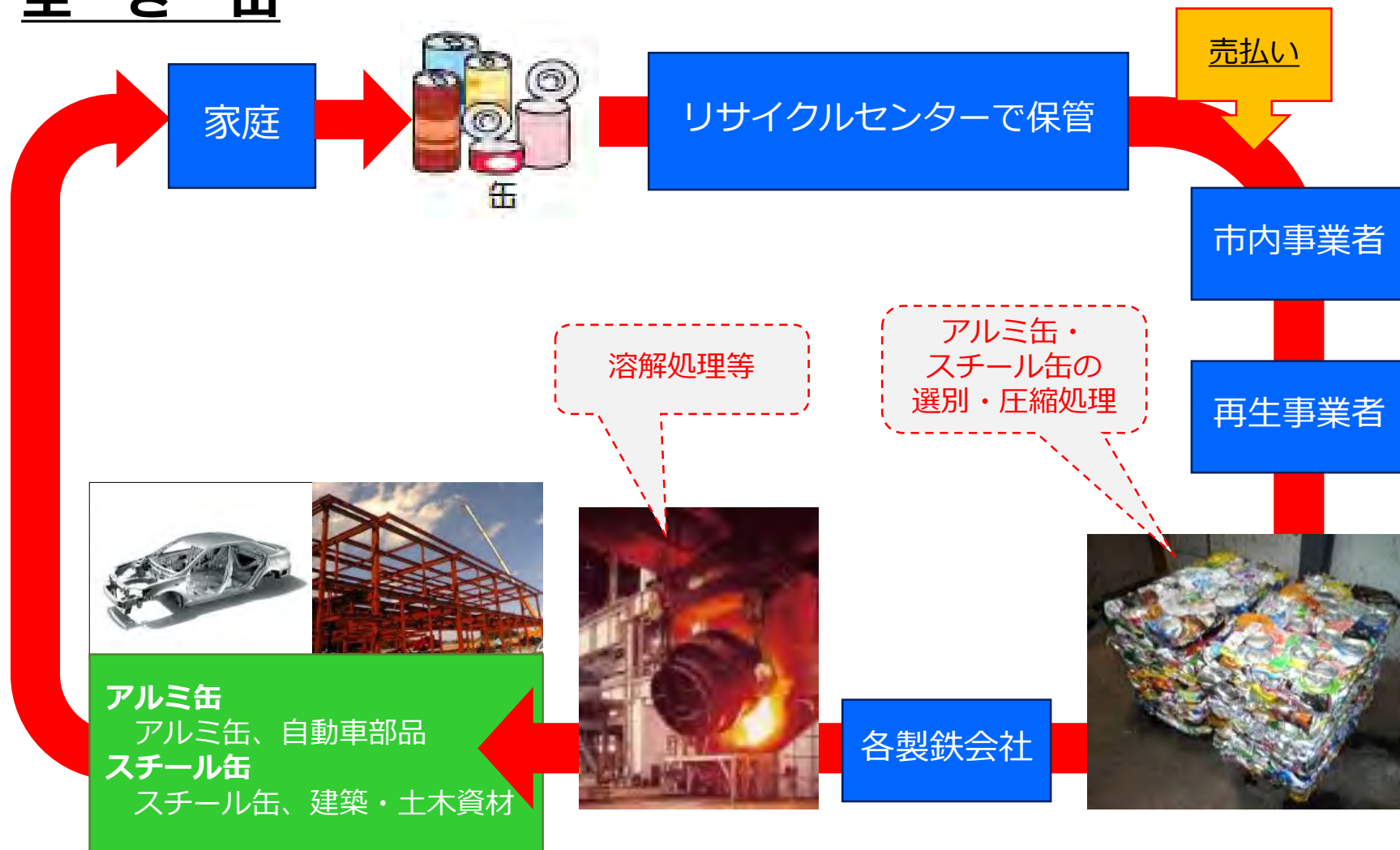
リサイクルの流れ③

ガラスびん（透明・茶ビン）

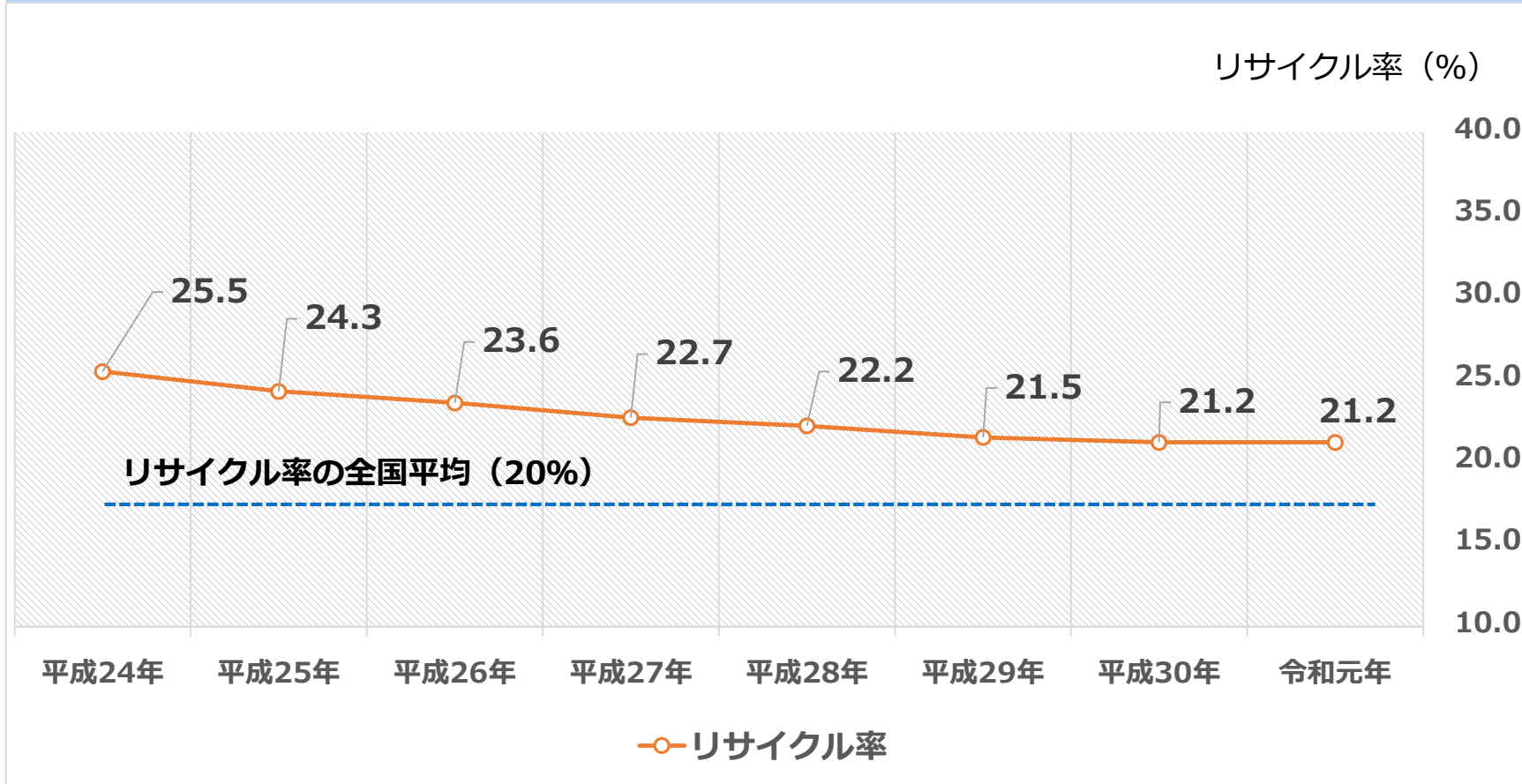


リサイクルの流れ④

空 缶



飛騨市で収集されるゴミの量とリサイクル率



『リサイクル率が減少しているのはなぜ？』

少子化による地域での資源回収が減少していること、スーパーなど民間事業所に資源ごみを出される方が増加してきたことが要因となっています。
尚、民間事業所の資源回収分を加えるとリサイクル率は28.2%になります。

ごみの減量化、リサイクルの推進に取り組めます！

その① ごみのリサイクル体制の強化

リサイクルポイント制度による 衣類リサイクルの推進

リサイクルが進んでいない「衣類」について、
定めた回収日に市役所や各振興事務所にて回収
を行います。

持ち込んだ量に応じたポイントで市のごみ袋
(プラor紙類用)と交換する仕組みにより、リ
サイクルの推進を図ります。

令和元年度 9月・11月・1月(年3回)

令和2年度 7月・9月・11月・1月・3月(年5回)



出張ごみ減らし隊 (お出かけリサイクルセンター)

飛騨市リサイクルセンターで扱うごみ等
(PETボトル、缶、ビン、小型家電、金物)
について、3ヶ月ごとに各地域に出張して回
収するとともに、ごみ相談やリサイクル情報
等の掲示を行い、意識啓発を図ります。

令和元年度 8月・11月(年2回)

令和2年度 5月・8月・11月(年3回)



ごみの減量化、リサイクルの推進に取り組めます！

その①-2 ごみのリサイクル体制の強化

24時間資源回収 ボックスの設置

「資源ごみをいつでも回収できる」
24時間資源回収ボックスを市内4箇所
設置し、リサイクルの推進及び市民の
利便性向上を図ります。

古川町若宮駐車場（H30～）
神岡振興事務所駐車場（R1～）
河合振興事務所駐車場（R2～）
宮川保健センター駐車場（R2～）



ごみの減量化、リサイクルの推進に取り組みます！

その② 食品廃棄物ゼロに向けた取り組み

食材使いきり料理教室

「美味しく食べて、家計もエコ」

大根の葉っぱ、ブロッコリーの芯、ニンジンの皮など食材全て使った料理教室を開催し、レシピを家庭で実践してもらうことで、食品廃棄ゼロを目指します。

令和元年11月30日 4組8名の親子が参加



「もったいないを無くす」

飛騨市食品ロス削減月間の推進

リサイクルの授業を通じて小学生に食べ残しゼロの重要性を伝え、あわせて食品ロス削減の啓発標語を作成。優秀作品に選ばれた古川小学校の6名で子どもキャラバン隊を結成し、飲食店等での啓発活動を行いました。



ごみの減量化、リサイクルの推進に取り組めます！

その③ 官民協働によるごみ減量化運動の推進

企業との飛騨市ごみゼロ パートナー宣言の実施

ごみ減量化に向けた取り組みを宣言する事業者を「飛騨市ごみゼロパートナー」として認定し、取り組み内容などを市がPRすることで、企業のイメージアップと他の事業者への啓発につなげます。



ごみ減量の推進を図る 「エコサポーター」の育成

ごみ処理施設見学と簡単な研修を行い、地域のごみ減量を推進する「エコサポーター」を市独自で認定します。ごみの分別やリサイクル啓発に協力いただきます。